

## 第18講 【 病因論 III 】 教科書 P.62～65

### 『 六淫 ② 』

#### 6. 火邪

\* 教科書には火邪は内因性のものと外因性のものがあると書かれているが、それは火邪に限ったことではない。また、内因性のものとはそもそも六淫（外因）ではなく、一般的に火・熱（内熱）などと呼ばれる。

[季節性] 四季を通じて見られるが、春・夏に最も多い。

[属性] 陽に属し(陽邪)、火行に属す。・・・暑邪に同じ

[特徴]

① 温・熱・火を含む。

: [温] < [熱] < [火] の順に強い。 ※ 火は熱の極み

② 炎上性

: 上昇しやすく(上)、熱の症状(炎)を引き起こす。

③ 傷陰性

: 津液を損傷しやすい。・・・暑邪に同じ

④ 生風・動血しやすい。

【 生 風 】: 「熱極生風」

火邪 → 肝陰を消耗 → 「肝風」の発生

└─→ 高熱とそれに伴う強い痙攣、譫言、昏睡 等

【 動 血 】

火邪 → 血脈に侵入 → 血温上昇・血行加速 → 血脈を損傷 → 出血

: 各種出血症を呈する。

⑤ 腫瘍をつくりやすい。

火邪 → 肉を侵蝕 { 癰瘡 (腫瘍・膿腫)

瘡瘍 (潰瘍)

\* 火邪による腫瘍の特徴: 「紅・腫・熱・痛」

## 『 六淫以外の外邪 』

### 【 疫癘 】

[別名] 疫気・癘気・疫毒・疫邪・毒気

[特徴] \* 強い伝染力、流行性を持つ。

\* 口・鼻から侵入する（空気・水・食物）

\* 発病すると症状が重く、伝染が速く広く流行する。

\* 学習ポイント：六淫と疫癘の共通点・相違点の比較。

## 2. 内因

：内因とは内（体内）から生じる病因のことで、過度の感情の乱れを指す。代表的なものには「七情」がある。

### 《 七情 》

：情緒活動の異常変化により疾病の原因となるもの。

[怒・喜・思・憂・悲・恐・驚] を含む。

[ 五志が七情に転化する条件 ]

五志等の精神活動は生理活動の一部であり、人体・臓腑にとって必要不可欠の行為であるが以下の条件を満たすと病因となる。

- ① 突然の激しい情緒変化。 例：激怒、急に家族の死を告げられる 等
- ② 長期的・持久的な情緒変化。 例：常にイライラ、心配、長期間の悲しみ 等

[ 特徴 ]

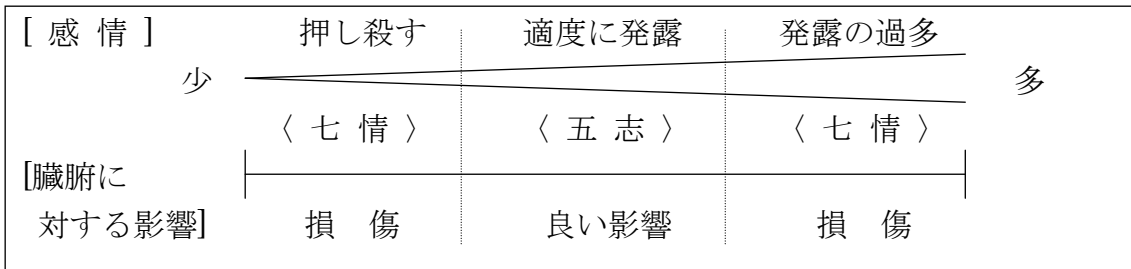
- ① 直接臓腑を傷める。

七情	怒	喜	思	憂	悲	恐	驚
損傷臓腑	肝	心	脾	肺	肺	腎	腎

\* 臨床では[心・肝・脾]の損傷がよく見られる。

\* 七情は臓腑を傷めるが、適度な感情変化（五志）は必要であり臓腑に良い影響を与える。また、各感情変化を我慢しても臓腑を傷める原因となる。

例－怒りをこらえる(ストレス) ⇒ 肝を傷める



② 気(機)を乱す。

《素問・举痛論篇》

七情	気機への影響	七情	気機への影響
怒	気が上逆する	悲	気を消耗する
喜	気が緩む	恐	気が下がる
思	気が鬱結する	驚	気が乱れる

\* 憂の記載はない。

[七情の表現]

七情	表現	七情	表現
怒	怒りの感情	憂	心が滅入る、悩み
喜	喜び、うれしさ、楽しさ	恐	恐れること
思	深く考えること	驚	驚くこと
悲	悲しみ	* * *	* * * * *

## 『発病』について

### 【定義】

“疾病の発生”：病因の作用の下、人体の臓腑経絡の機能に異常が起こり、気血陰陽のバランスが崩れ様々な症状が出現すること。

### 【関係要素】

#### 1) 正気

(1) 定義：人体各種の気の総称。

正気が充実 ⇒ 人体機能活動が活発 ⇒ 病因への抵抗力・病後の回復力が高い

(2) 正気の強弱に関する要素

① 体質：体質が強ければ正気は強く、体質が弱ければ正気も弱い

② 精神状態：精神状態が良好ならば正気も充実

精神状態が不良ならば正気は不足

③ 年齢：若者は正気が比較的強く、老人は比較的弱っている。

④ 性別：男性は正気が比較的強く、女性は正気が比較的弱い

\*上記のうち 1) 2) が特に決定的な意味合いを持つ。

(3) 発病での作用

① 正気が強ければ発病せず、正気が弱ければ発病する。

② 正気の強弱に関わらず、邪気があまりにも強すぎれば発病する。

#### 2) 邪気

(1) 定義：病因を指す。

(2) 邪気の強弱に関する要素

① 感邪の程度 { 感邪が軽ければ邪気は弱い  
感邪が重ければ邪気は強い

② 疫癘は六淫よりも強い

(3) 発病での作用

① 邪気が強い時、明らかに正気よりも強い時に発病する。

### 【基本原理】

正邪の勝敗結果により発病するかが決定する。

正邪の闘争 ⇒ { 正気が勝つ・・・発病しない  
邪気が勝つ・・・発病する

① 正気が充実 ————— 邪気・・・発病しない

② 正気が不足 ————— 邪気・・・発病（一般的な疾患）

③ 正気が充実か不足 —— 強い邪気を受けた場合・・・発病（重症）

④ 正気が充実か不足 —— 非常に強い邪気を受ける・・・発病（劇症）

\* 正邪の闘争により決まるのが発病

\* 発病する疾患の程度は基本的には正気の強弱は関係なく、邪気の強さに比例する。